

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル） 申請様式

① 学校名

② 大学等の設置者

③ 設置形態

④ 所在地

⑤ 申請するプログラム又は授業科目名

⑥ プログラムの開設年度

⑦ 教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人

⑧ プログラムの授業を教えている教員数 人

⑨ 全学部・学科の入学定員 人

⑩ 全学部・学科の学生数（学年別） 総数 人

1 年次	<input type="text" value="538"/> 人	2 年次	<input type="text" value="527"/> 人
3 年次	<input type="text" value="494"/> 人	4 年次	<input type="text" value="480"/> 人
5 年次	<input type="text" value=""/> 人	6 年次	<input type="text" value=""/> 人

⑪ プログラムの運営責任者
 (責任者名) (役職名)

⑫ プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）

 (責任者名)

⑬ プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

 (責任者名) (役職名)

⑭ 申請する認定プログラム

連絡先

所属部署名	大学事務局教務事務部	担当者名	安倍武司
E-mail	anbe@nm.beppu-u.ac.jp	電話番号	0977-66-9675

学校名： 別府大学

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 具体的な修了要件

「数理・データサイエンス入門」及び「情報リテラシー」の単位を修得すること。

単位の認定要件
 「情報リテラシー」は情報倫理や情報セキュリティの基礎について理解し、情報検索やワープロソフトや表計算ソフト等の基本的な活用スキルを身につけた学生に単位を認定する。
 「数理・データサイエンス入門」は次の3つの到達目標が設定されている。各到達目標毎にレポート・小テストを課し、最大でカッコ内の評価ポイントを付与する。3つの到達目標の評価ポイントの合計が60ポイント以上のときに単位を認定する。
 ○現代社会におけるデータサイエンスの役割を説明することができる。(40)
 ○データサイエンスにおける代表的な分析手法について説明することができる。(30)
 ○様々なデータに対し、基本的な可視化や分析などの処理をおこなうことができる。(30)

③ 授業科目名称

授業科目名称		授業科目名称	
1	数理・データサイエンス入門	26	
2	情報リテラシー	27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

学校名：別府大学

プログラムの履修者数等の実績について

学部・学科名称	収容定員	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		履修者数合計	履修率
		履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
文学部（人文科学）	1080	319	309											319	30%
食物栄養科学部（家政）	494	122	122											122	25%
国際経営学部（社会科学）	400	116	107											116	29%
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
合計	1974	557	538	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	557	28%

学校名： 別府大学

プログラムの授業内容・概要

- ① プログラムを構成する授業の内容・概要（数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当）

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
<p>(1) 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当</p>	<p>近年、社会のICT化が急速に進み、それにより蓄積された膨大なデータの分析から見いだされる新たな知見や価値が注目されています。この講義では、データサイエンスの基本的な考え方、統計学の基礎、主な分析手法、さまざまな分野における応用例を学び、現代社会におけるデータサイエンスの役割を理解します。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	数理・データサイエンス入門	現代社会におけるデータサイエンス1 データサイエンスの役割(1)
	数理・データサイエンス入門	データサイエンスの応用事例 画像処理／音声処理／医学(14～15)

<p>(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当</p>	授業概要	
	<p>近年、社会のICT化が急速に進み、それにより蓄積された膨大なデータの分析から見いだされる新たな知見や価値が注目されています。この講義では、データサイエンスの基本的な考え方、統計学の基礎、主な分析手法、さまざまな分野における応用例を学び、現代社会におけるデータサイエンスの役割を理解します。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	数理・データサイエンス入門	現代社会におけるデータサイエンス2 データ分析のためのデータ取得と管理、情報倫理(2)
	数理・データサイエンス入門	データサイエンスの応用事例 画像処理／音声処理／医学(14～15)

<p>(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当</p>	授業概要	
	<p>近年、社会のICT化が急速に進み、それにより蓄積された膨大なデータの分析から見いだされる新たな知見や価値が注目されています。この講義では、データサイエンスの基本的な考え方、統計学の基礎、主な分析手法、さまざまな分野における応用例を学び、現代社会におけるデータサイエンスの役割を理解します。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	数理・データサイエンス入門	データサイエンスの手法3 ニューラルネットワーク
	数理・データサイエンス入門	データサイエンスの手法4 機械学習と人工知能 (AI)
	数理・データサイエンス入門	データサイエンスの応用事例 画像処理／音声処理／医学(14～15)

<p>(4) 活用に当たっ ての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、 データ倫理、A I 社 会原則等) を考慮 し、情報セキュリ ティや情報漏洩等、 データを守る上での 留意事項への理解を する</p> <p>※モデルカリキュラ ム心得3-1、心得 3-2が該当</p>	授業概要	
	<p>近年、社会のICT化が急速に進み、それにより蓄積された膨大なデータの分析から見いだされる新たな知見や価値が注目されています。「数理・データサイエンス入門」では、データサイエンスの基本的な考え方、統計学の基礎、主な分析手法、さまざまな分野における応用例を学び、現代社会におけるデータサイエンスの役割を理解します。</p> <p>「情報リテラシー」では、情報通信機器を安全・安心に活用するために必要となる、情報倫理や知的財産権を概観し、個人情報や情報セキュリティーなどの考え方や基本スキルを身につけます。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	数理・データサイエンス入門	現代社会におけるデータサイエンス2 データ分析のためのデータ取得と管理、情報倫理(2)
	数理・データサイエンス入門	データサイエンスの応用事例 画像処理／音声処理／医学(14～15)
	情報リテラシー	情報倫理、知的財産権について(3)
	情報リテラシー	個人情報とネットの安全性について(4)

<p>(5) 実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの</p> <p>※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当</p>	授業概要	
	<p>近年、社会のICT化が急速に進み、それにより蓄積された膨大なデータの分析から見いだされる新たな知見や価値が注目されています。「数理・データサイエンス入門」では、データサイエンスの基本的な考え方、統計学の基礎、主な分析手法、さまざまな分野における応用例を学び、現代社会におけるデータサイエンスの役割を理解します。</p> <p>「情報リテラシー」では、データを活用するための一般的なスキルである表計算ソフトの操作方法を学び、データの集計、並び替え、グラフ化などの基礎的な手法を身につけます。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	数理・データサイエンス入門	データ分析の基礎1 ヒストグラム・箱ひげ図・平均と分散(5)
	数理・データサイエンス入門	データ分析の基礎2 散布図と相関係数／回帰直線(6)
	数理・データサイエンス入門	データ分析の基礎3 データ分析で注意すべき点(7)
	数理・データサイエンス入門	Pythonプログラミングの基礎(3～4)
	情報リテラシー	Excelによる数値データの整理(9)
	情報リテラシー	Excelによるグラフ作成(10)

- ② プログラムを構成する授業の内容・概要（数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムの「選択」に相当）

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	
アルゴリズム基礎	
データ構造とプログラミング基礎	
時系列データ解析	
テキスト解析	
画像解析	
データハンドリング	数理・データサイエンス入門
データ活用実践（教師あり学習）	数理・データサイエンス入門
その他	

- ③ プログラムの授業内容等を公表しているアドレス URL: <https://www.beppu-u.ac.jp/general/publicinformation/ai/>

- ④ プログラムの学修成果（学生等が身に付けられる能力等）

<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会におけるデータサイエンスの役割を説明することができる。 ○データサイエンスにおける代表的な分析手法について説明することができる。 ○様々なデータに対し、基本的な可視化や分析などの処理をおこなうことができる。
--

学校名 別府大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

別府大学・別府大学短期大学部数理・データサイエンス教育推進委員会規則

② 体制の目的

データを活用し社会の課題を発見・解決できる人材を育成することを目的に、数理・データサイエンス・AI教育のプログラムに関し、プログラムの推進、点検・評価、改善・進化に関することを検討・実施する。

③ 具体的な構成員

数理・データサイエンス教育推進委員会委員長(文学部長) 西村靖史
大学学長補佐(就職担当)・国際経営学部 教授 是永逸郎
国際経営学部 教授 河合研一
短大学長補佐(教務担当)・初等教育科 教授 後藤善友
大学事務局教務事務部長 安倍武司
大学事務局教務事務部教務課長 室谷征一郎

④ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

全学部必修

- ⑤ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

全学部必修

- ⑥ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

全学部必修

⑦ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

全学部必修とし、修得しやすくするため、学生SAを授業に配置し、サポートしている。

⑧ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

学内e-learningシステムに毎回の授業の資料等を掲載し、復習に活用できるようにしている。また、質問等については、同システム上やメールあるいは週2回のオフィスアワーを利用できるようにしている。

学校名：別府大学

自己点検・評価について

① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	数理・データサイエンス教育推進委員会において、プログラムの履修状況・単位取得状況を分析する。また、授業支援システムの学習記録から課題毎の提出率等を把握したうえで課題の難易度を適正化するなど、修得状況の改善に活用している。
学修成果	数理・データサイエンス教育推進委員会において、授業評価の得点分布を分析することで全体的な理解度を把握するほか、授業支援システムの学習記録から課題毎の提出率等を分析し、学習内容（スキルセット）毎の理解度を把握することができる。これらの結果を本教育プログラムの改善に活用している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本教育プログラムの履修者全員に対して授業理解度アンケートを実施しており、数理・データサイエンス教育推進委員会において学生の理解度を分析し、授業改善に活用している。
学生アンケート等を通じた後輩等の学生への推奨度	本学では卒業必修としているため推奨度は確認していないが、履修者全員に対して実施している授業理解度アンケートにおいて、後輩学生への履修時の心構えや関連して履修すべき科目等について確認している。その結果は本教育プログラムの専用ページに掲載し、後輩学生への履修時の参考情報として活用している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本学では本教育プログラムを令和2年度入学生より全学必修科目として開設しているため、履修率は100%を達成している。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	まだ修了者のほとんどが在学中であり、進路は決定していないが、修了者の中には、情報関連分野の企業への就職を志望する学生も出てきている。情報関連分野以外の民間企業や公務員志望の学生においても本教育プログラムで学んだ知識を活かせると考えているようである。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	産業界の方に本教育プログラムの話をすると、まず本学でそのような授業が必修科目として実施されていることに驚かれる。その内容についても興味があるようで、社内研修の参考にしたいとの声もあった。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	「数理・データサイエンス・AIリテラシーレベルのモデルカリキュラム」の「導入」領域を充実させることで、学ぶ楽しさや学ぶ意義を理解させる工夫をしている。身近な社会での実例を紹介することや、今後のSociety5.0が実現した社会を予想・議論する活動を通して学生の興味関心を高めている。また、授業理解度アンケートによりこれらの工夫の評価・改善を行なっている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	内容・水準の維持・向上については、「数理・データサイエンス・AIリテラシーレベルのモデルカリキュラム」に基づきリテラシーレベルの内容の確実な修得を計画するとともに、モデルカリキュラムの「オプション」内容をできる限り盛り込み、学生が実際に手を動かしながら実感できる演習を充実させることで、分かりやすい授業となるよう改善を進める。

※公表している場合のアドレス

② 自己点検・評価体制における意見等の公表の有無

<https://www.bepu-u.ac.jp/general/publicinformation/ai/>

シラバス参照

科目コード	2A8213							
科目名	数理・データサイエンス入門							
⑥担当教員名	西村靖史							
科目区分	コア科目コア4							
対象学科	[21]文学部 人間関係学科							
対象学年	1年次							
開講期間	後期							
⑤単位数	2							
+++授業概要	近年、社会の ICT 化が急速に進み、それにより蓄積された膨大なデータの分析から見いだされる新たな知見や価値が注目されています。この講義では、データサイエンスの基本的な考え方、統計学の基礎、主な分析手法、さまざまな分野における応用例を学び、現代社会におけるデータサイエンスの役割を理解します。							
①到達目標	No	到達目標	教養 ※教養 科目	専門力 ※専門 科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	到達目標 1.	現代社会におけるデータサイエンスの役割を説明することができる。	○					
	到達目標 2.	データサイエンスにおける代表的な分析手法について説明することができる。	○					
	到達目標 3.	様々なデータに対し、基本的な可視化や分析などの処理をおこなうことができる。						○
④授業計画	No	③授業内容	授業時間外の学修の内容と時間					
	1.	現代社会におけるデータサイエンス 1 データサイエンスの役割	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	2.	現代社会におけるデータサイエンス 2 データ分析のためのデータの取得と管理、情報倫理	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	3.	Python プログラミングの基礎 1 (ICT 活用)	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	4.	Python プログラミングの基礎 2 (ICT 活用)	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	5.	データ分析の基礎 1 ヒストグラム・箱ひげ図・平均と分散	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	6.	データ分析の基礎 2 散布図と相関係数/回帰直線	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	7.	データ分析の基礎 3 データ分析で注意すべき点	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	8.	データサイエンスの手法 1 クロス集計/回帰分析/ベイズ推論	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	9.	データサイエンスの手法 2 アソシエーション分析/クラスタリング/決定木	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
	10.	データサイエンスの手法 3 ニューラルネットワーク	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					

11.	データサイエンスの手法 4 機械学習と人工知能(AI)	テキストによる予習(1.5h)					
			課題学修(2h)				
12.	プログラミング言語 Python を使ったデータ分析 1 (ICT 活用)	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
13.	プログラミング言語 Python を使ったデータ分析 2 (ICT 活用)	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
14.	データサイエンスの応用事例 1 画像処理／音声処理／医学	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
15.	データサイエンスの応用事例 2 画像処理／音声処理／医学	テキストによる予習(1.5h) 課題学修(2h)					
②履修条件や関連する科目等	1 年前期「情報リテラシー」(必修科目)を履修済もしくは同等以上の能力があることを履修条件とします。授業には各自のノートパソコンを持参してください。						
教科書(テキスト)	竹村彰通ほか(2019)「データサイエンス大系 データサイエンス入門」,学術図書出版社(2000 円)						
参考書(授業資料)	特になし						
⑦評価方法とその割合	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1		20%	20%			
	到達目標 2		15%	15%			
	到達目標 3		15%	15%			
評価方法(自由記述欄)							
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の到達度に応じて、AA(90-100 点)、A(80-89 点)、B(70-79 点)、C(60-69 点)、F(59 点以下)で評価します。 ・各到達目標毎にレポート・小テストを課し、最大で評価割合に対応する評価ポイントを付与します。3 つの到達目標の評価ポイントの合計が 60 ポイント(60%)以上のときに修了を認定します。 ・毎回の授業での活動に支障が出ないようにノートパソコンのバッテリー残量やアップデートの有無を事前に確認し、十分な準備がなされていることも評価の対象となります。 ・この科目は、再試を実施します。 						
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等は moodle コース内に設置された掲示板やメールで受け付けています。オフィスアワーや授業の前後の質問も歓迎します。 ・レポート返却は moodle コース内で行います。 						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	特になし						
学生へのメッセージその他	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎回の授業で課題提出が求められ、評価の対象となります。 ・授業に欠席した場合は、欠席した授業の内容について moodle やテキストで自主学習をすることで遅れを取り戻すとともに、提出期限に間に合うように課題に取り組んでください。(この授業科目は、遠隔授業で実施します。) 						
ナンバリング	INF-0-02-700						

シラバス参照

科目コード	3A8111
科目名	情報リテラシー
⑥担当教員名	是永 逸郎
科目区分	コア科目コア4
対象学科	[21]国際経営学部 国際経営学科
対象学年	1年次
開講期間	前期
⑤単位数	2

+++授業概要	情報化社会で必要とされるネットワークや情報倫理の知識を養い、情報検索やソフトウェア操作の技術を身につけることで、情報処理の役割や可能性を理解し、大学生活や社会生活のさまざまな場面でコンピュータを活用できるようになることを目的とする。							
①到達目標	No	到達目標	教養 ※教養 科目	専門力 ※専門 科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用 力 表現 力	汎 用 力 情 報 力
	到達 目標 1.	ICT機器の活用に関する基本的知識・技術を身につけ、学生生活で求められる情報検索、情報整理、レポート作成、課題発表をICTを活用し効率的に行うことができるようになる。	◎					
	到達 目標 2.	情報倫理や著作権等について理解し、インターネットを通じた情報入手・分析・発信を安全かつ有効に活用することができるようになる。						○
	到達 目標 3.	ICTを活用し自分の意見や主張などを表現できるようになる。					○	
	到達 目標 4.	ICT活用を通じて論理的な思考ができるようになる。			○			
④授業計画	No	③授業内容	授業時間外の学修の内容と時間					
	1.	ノートパソコンの設定確認（無線LAN接続、Microsoft Officeのセットアップ） / パスワード管理、学内情報システム（Gmail、Moodle）の利用説明	予習：ノートパソコン設定ガイドブック（2時間） 復習：各種セットアップの確認（1時間）					
	2.	ファイルやフォルダの操作、Moodleへのファイル提出方法など / 簡易自己紹介スライドの作成とグループ内発表（プレゼンテーション）	予習：テキスト1章（1時間） 復習：自己紹介スライドのmoodle提出(1時間)					
	3.	情報倫理、知的財産権について / タッチタイピングの基本1 情報モラルについて学ぶ	予習：infoss情報倫理序章-3章（2時間） 復習：infoss情報倫理 修了テスト（1時間）					
	4.	個人情報とネットの安全性について / タッチタイピングの基本2 情報セキュリティについて学ぶ	予習：infoss情報倫理4章-7章（2時間） 復習：infoss情報倫理 修了テスト（1時間）					
	5.	図書館資料検索、雑誌・新聞記事の検索、情報の整理・分析 課題解決のために必要な情報を探求する方法について学ぶ 情報を分析評価し整理する方法について学ぶ	予習：インフォメーション・スキル入門コース（1時間） 復習：インフォメーション・スキル入門コース修了テスト（1時間）					
	6.	Wordによる文書作成1 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	予習：2章例題1（1時間） 復習：2章実習03（1時間）					
	7.	Wordによる文書作成2 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	予習：2章例題4（1時間） 復習：2章実習09（1時間）					
	8.	PowerPointによる発表スライド作成 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	予習：4章例題22（1時間） 復習：2章実習30（1時間）					
	9.	Excelによる数値データの整理 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	予習：3章例題7（1時間） 復習：2章実習17（1時間）					

	情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	科目・単元名(1時間)																									
10.	Excelによるグラフ作成 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	予習：3章例題19 (1時間) 復習：3章実習23 (1時間)																									
11.	Wordによる長文作成・レポート作成 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	予習：2章例題6 (1時間) 復習：2章実習12 (1時間)																									
12.	WEBページの作成 (WEBページの仕組み、HTMLの基礎) 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	復習：WEBページの作成 (2時間)																									
13.	WEBページの作成 (WEBページの編集) 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	復習：WEBページの作成 (2時間)																									
14.	WEBページの作成 (WEBページのアップロード、更新) 情報のアウトプットに関する方法を学ぶ	復習：WEBページの作成 (2時間)																									
15.	まとめ、これまで学んだことの確認	予習：これまで学んだことの復習 (2時間)																									
②履修条件や関連する科目等	特に無し																										
教科書 (テキスト)	『30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019 Windows 10対応』実教出版 (1430円)																										
参考書 (授業資料)	特になし																										
⑦評価方法とその割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>到達目標毎の評価方法</th> <th>期末試験</th> <th>小テスト</th> <th>課題・レポート</th> <th>発表</th> <th>授業の取組み姿勢</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>到達目標1</td> <td>15%</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>15%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標2</td> <td>15%</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>15%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他	到達目標1	15%		20%		15%		到達目標2	15%		20%		15%	
到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他																					
到達目標1	15%		20%		15%																						
到達目標2	15%		20%		15%																						
評価方法 (自由記述欄)	授業の中で課題に取り組み、提出してもらいます。授業時間内で終わらなかった課題については、授業時間外に完成させて提出してください。 授業の取組み姿勢、提出課題、期末試験により評価する。																										
評価基準等	学習の到達度に応じて、AA(90-100点)、A (80-89点)、B (70-79点)、C (60-69点)、F (59点以下) で評価します。																										
学習相談及び学習成果のフィードバック	<p>(1) オフィスアワー,研究室の所在 オフィスアワー：月曜3限、火曜4限 研究室：25号館4階421研究室 メールアドレス：kore@nm.bepu-u.ac.jp</p> <p>(2) 学習成果のフィードバック 課題については授業の中で考え方や解法の解説を行います。 質問等はmoodleコース内に設置された掲示板やメールで受け付けています。オフィスアワーや授業の前後の質問も歓迎します。</p>																										
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	特に無し																										
学生へのメッセージ その他	<p>この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。</p> <p>システム開発の現場で21年間の実務経験があり、Word、Excelを使って、システム仕様書、試験結果成績書、マニュアルなどのドキュメント作成をおこなってきました。また、業務の中で、情報モラルやセキュリティに関する実践的・専門的な知識も学んできました。このような経験を活かして、実践的な情報リテラシー教育を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎回の授業で課題提出が求められ、評価の対象となります。授業に欠席した場合は、欠席した授業の内容についてmoodleやテキストで自主学習をすることで遅れを取り戻すとともに、提出期限に間に合うように課題に取り組んでください。 ・e-Learningシステムmoodleコース内で、資料提示、課題提出、掲示板等によるディスカッションといった機能を活用し、反転授業や双方向授業を行います。対面授業だけでなくmoodleコース内でも積極的な姿勢を期待しています。(ICT活用) 																										
ナンバリング	INF-0-02-700																										
更新日付	2021/03/18 17:56																										

I 文学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	教養		
	下記の表の各科目区分に記載		
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
(4)情報力		我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。	

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標(ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
基礎ゼミ	導入演習(国際言語・文化)	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○	○	○	○
	導入演習(史学・文化財)		○	○	○	○
	導入演習(人間関係)		○	○	○	○
	基礎演習(国際言語・文化)		○	○	○	○
	基礎演習(史学・文化財)		○	○	○	○
	基礎演習(人間関係)		○	○	○	○
コア1 学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○	○
	温泉学概論		○	○	○	○
	キャリア教育Ⅰ		○	○	○	○
	キャリア教育Ⅱ		○	○	○	○
	インターンシップⅠ		○	○	○	○
	インターンシップⅡ		○	○	○	○
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○	○
	NPO論		○	○	○	○
	トップマネジメント講話		○	○	○	○
	手話		○	○	○	○
	地域と世界農業遺産		○	○	○	○
	世界農業遺産体験演習		○	○	○	○
	世界農業遺産マネジメント演習		○	○	○	○
	九州学		○	○	○	○
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○
	災害支援と防災対策		○	○	○	○
	汎領域研究1(単位互換)		○	○	○	○
	汎領域研究2(単位互換)		○	○	○	○
	汎領域研究3(単位互換)		○	○	○	○
	汎領域研究4(単位互換)		○	○	○	○
コア2 人間と文化の探求	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○	○	○
	哲学		○	○	○	○
	倫理学		○	○	○	○
	生命倫理学		○	○	○	○
	心理学Ⅰ		○	○	○	○
	心理学Ⅱ		○	○	○	○
	歴史学		○	○	○	○
	日本文化史		○	○	○	○
	世界文化史		○	○	○	○
	科学史		○	○	○	○
	社会思想史		○	○	○	○
	体育実技Ⅰ		○	○	○	○
	体育実技Ⅱ		○	○	○	○
	スポーツと健康		○	○	○	○

コア科目

コア3 現代社会の多面的理解	法学(日本国憲法)	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○	○				
	法律学		○	○				
	行政法		○	○				
	経済学		○	○				○
	社会学		○	○				
	地域福祉論		○	○				
	社会調査法		○	○				
	政治学		○	○	○			○
	マスコミ論		○	○			○	○
	国際文化論		○					
	国際関係論		○	○				○
	地域環境論		○	○			○	○
	国際理解 I		○	○			○	
	国際理解 II		○	○			○	
	社会生活概論		○			○		
	ボランティア活動論		○	○	○	○	○	○
	人権教育論		○	○				
	コア4 科学と情報		生物学	自然環境の理解に必要な教養を身につける	○	○		
数学基礎		○	○					
化学基礎		○				○		
科学技術論		○	○			○		
科学と社会		○	○			○		
情報リテラシー		情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○	○	○	○	○	
数理・データサイエンス入門			○				○	
論理学			○	○				
統計学			○	○				
コア5 国際理解のための言語	英語1	外国語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける	○	○			○	
	英語2		○	○			○	
	英語3		○	○	○	○	○	
	英語4		○	○	○	○	○	
	英語5		○				○	
	英語6		○				○	
	英会話基礎1		○		○			
	英会話基礎2		○		○			
	TOE I C 1		○		○		○	
	TOE I C 2		○		○		○	
	TOE I C 3		○	○	○			
	TOE I C 4		○	○	○			
	TOE I C 5		○		○	○	○	
	TOE I C 6		○		○	○	○	
	TOE I C 7		○	○		○	○	
	TOE I C 8		○	○		○	○	
	英語ステップアップ演習1		○				○	
	英語ステップアップ演習2		○				○	
	ドイツ語基礎1		○				○	
	ドイツ語基礎2		○				○	
	ドイツ語コミュニケーション1		○				○	
	ドイツ語コミュニケーション2		○				○	
	フランス語基礎1		○				○	
	フランス語基礎2		○		○	○	○	
	フランス語コミュニケーション1		○	○	○			
	フランス語コミュニケーション2		○	○	○			
	中国語基礎1		○	○	○	○		
	中国語基礎2		○	○	○	○		
	中国語コミュニケーション1		○	○	○	○		
	中国語コミュニケーション2		○	○	○	○	○	
	韓国語基礎1		○				○	
	韓国語基礎2		○				○	
韓国語コミュニケーション1	○				○			
韓国語コミュニケーション2	○				○			
海外語学研修1	○	○			○			
海外語学研修2	○	○			○			
海外語学研修3	○	○			○			
海外語学研修4	○	○			○			

外書講読	外書講読 1	英語の文献読解力を高める	○	○		○	
	外書講読 2		○	○		○	
	外書講読 3		○	○		○	
	外書講読 4		○	○		○	

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

授業科目の名称		学修成果の目標(ディプロマポリシー)					
		教養	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
日本語	総合日本語 1 (読む・書く)	外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を身につける	○	○		○	
	総合日本語 2 (読む・書く)		○	○		○	
	総合日本語 3 (聴く・話す)		○			○	
	総合日本語 4 (聴く・話す)		○			○	
	アカデミック日本語 1 (口頭発表)		○			○	○
	アカデミック日本語 2 (口頭発表)		○			○	○
	アカデミック日本語 3 (論文作成)		○			○	
	アカデミック日本語 4 (論文作成)		○			○	
	アカデミック日本語 5 (言語知識)		○			○	
	アカデミック日本語 6 (言語知識)		○			○	

II 食物栄養科学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

1) 食物栄養学科

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	教養	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標(ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
食物栄養科学 基盤領域	導入演習(食物栄養)	○			○	
	基礎演習(食物栄養)	○	○	○	○	
	学生生活における健康管理	○				○
	アカデミック・スキルズ	○	○		○	
	食とバイオ	○	○			
	一般化学	○		○		
	食環境と微生物	○			○	○
	食生活論	○			○	○
	食物栄養科学と統計情報処理	○	○			○
	グローバル食文化研修Ⅰ	○			○	○
	グローバル食文化研修Ⅱ	○			○	○
コア1 地域社会総合領域	大学史と別府大学	○	○	○		
	温泉学概論	○	○	○		○
	キャリア教育Ⅰ	○	○	○		
	キャリア教育Ⅱ	○		○	○	○
	市民生活とアーカイブズ	○	○	○		
	NPO論	○				○
	トップマネジメント講話	○	○	○		
	手話	○			○	
	地域と世界農業遺産	○	○			
	世界農業遺産体験演習	○		○		
	世界農業遺産マネジメント演習	○	○		○	○
	九州学	○			○	
	地域社会フィールドワーク演習	○	○	○		
	災害支援と防災対策	○	○	○	○	
	汎領域研究1(単位互換)	○	○	○	○	○
	汎領域研究2(単位互換)	○	○	○	○	○
	汎領域研究3(単位互換)	○	○	○	○	○
汎領域研究4(単位互換)	○	○	○	○	○	
コア2 人間と文化探求 領域	文学	○	○		○	
	科学史	○	○		○	
	哲学における人間と世界	○	○			
	倫理学	○	○			
	生命倫理学	○	○			
	歴史学	○	○			
	日本文化史	○	○		○	○
	世界文化史	○				○
	体育実技Ⅰ	○	○	○	○	○
	体育実技Ⅱ	○	○	○	○	○
	スポーツと健康	○				○
社会心理学	○	○	○	○	○	

コア3 社会科学探求領域	法学（日本国憲法）	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○	○			
	法律学		○	○			
	社会生活概論		○		○		
	社会調査概論		○	○			
コア4 自然科学・情報 基盤領域	科学技術論		○	○		○	
	生物学		○	○			
	科学と社会		○	○		○	
	数学基礎		○	○			
	統計学		○	○			
	情報リテラシー		○	○		○	○
	数理・データサイエンス入門		○				○
コア5 国際理解のための 言語領域	総合英語Ⅰ		○			○	
	総合英語Ⅱ		○			○	
	英語ステップアップ演習Ⅰ		○			○	
	英語ステップアップ演習Ⅱ		○			○	
	総合英語Ⅲ		○			○	
	総合英語Ⅳ		○			○	
	英語コミュニケーションⅠ		○	○	○	○	○
	英語コミュニケーションⅡ		○	○	○	○	○
	TOEICⅠ		○		○		○
	TOEICⅡ		○		○		○
	フランス語Ⅰ		○			○	○
	フランス語Ⅱ		○		○	○	○
	中国語Ⅰ		○		○	○	
	中国語Ⅱ		○			○	
	韓国語Ⅰ		○			○	
	韓国語Ⅱ		○			○	
	ドイツ語Ⅰ		○			○	
	ドイツ語Ⅱ		○			○	
	海外語学研修1		○	○		○	
	海外語学研修2		○	○		○	
海外語学研修3	○	○		○			
海外語学研修4	○	○		○			

II 食物栄養科学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

1) 発酵食品学科

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	教養	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標(ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
食物栄養科学 基盤領域	導入演習(発酵食品)	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○			○
	基礎演習(発酵食品)		○	○	○	
	学生生活における健康管理		○			○
	アカデミック・スキルズ		○	○		○
	食とバイオ		○	○		
	一般化学		○		○	
	食環境と微生物		○			○
	食生活論		○			○
	食物栄養科学と統計情報処理		○	○		○
	グローバル食文化研修Ⅰ		○			○
	グローバル食文化研修Ⅱ		○			○
コア1 地域社会総合領域	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○	
	温泉学概論		○	○	○	○
	キャリア教育Ⅰ		○	○	○	
	キャリア教育Ⅱ		○		○	○
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○	
	NPO論		○			○
	トップマネジメント講話		○	○	○	
	手話		○			○
	地域と世界農業遺産		○			
	世界農業遺産体験演習		○			
	世界農業遺産マネジメント演習		○			
	九州学		○			
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	
	災害支援と防災対策		○			
	汎領域研究1(単位互換)		○			
	汎領域研究2(単位互換)		○			
汎領域研究3(単位互換)	○					
汎領域研究4(単位互換)	○					
コア2 人間と文化探求 領域	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○		○
	科学史		○	○		○
	哲学における人間と世界		○	○		
	倫理学		○	○		
	生命倫理学		○	○		
	歴史学		○	○		
	日本文化史		○	○		○
	世界文化史		○			○
	体育実技Ⅰ		○	○	○	○
	体育実技Ⅱ		○	○	○	○
	スポーツと健康		○			○
社会心理学	○	○	○	○		

コア3 社会科学探求領域	法学（日本国憲法）	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○	○			
	法律学		○	○			
	社会生活概論		○		○		
	社会調査概論		○	○			
コア4 自然科学・情報 基盤領域	科学技術論	情報の収集・作成・加工・ 発信の基礎スキルを身につける	○				
	生物学		○	○			
	科学と社会		○				
	数学基礎		○	○			
	統計学		○	○			
	情報リテラシー		○	○		○	○
	数理・データサイエンス入門		○				○
コア5 国際理解のための 言語領域	総合英語Ⅰ	外国語の基礎的なコミュニ ケーション能力を身につける	○			○	
	総合英語Ⅱ		○			○	
	英語ステップアップ演習Ⅰ		○			○	
	英語ステップアップ演習Ⅱ		○			○	
	総合英語Ⅲ		○			○	
	総合英語Ⅳ		○			○	
	英語コミュニケーションⅠ		○	○	○	○	○
	英語コミュニケーションⅡ		○	○	○	○	○
	TOEICⅠ		○		○		○
	TOEICⅡ		○		○		○
	フランス語Ⅰ		○			○	○
	フランス語Ⅱ		○		○	○	○
	中国語Ⅰ		○		○	○	
	中国語Ⅱ		○			○	
	韓国語Ⅰ		○			○	
	韓国語Ⅱ		○			○	
	ドイツ語Ⅰ		○				
	ドイツ語Ⅱ		○				
	海外語学研修1		○				
	海外語学研修2		○				
海外語学研修3	○						
海外語学研修4	○						

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

授業科目の名称		学修成果の目標(ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
日本語	総合日本語1（読む・書く）	○	○		○	
	総合日本語2（読む・書く）	○	○		○	
	総合日本語3（聴く・話す）	○			○	
	総合日本語4（聴く・話す）	○			○	
	アカデミック日本語1（口頭発表）	○			○	○
	アカデミック日本語2（口頭発表）	○			○	○
	アカデミック日本語3（論文作成）	○			○	
	アカデミック日本語4（論文作成）	○			○	
	アカデミック日本語5（言語知識）	○			○	
	アカデミック日本語6（言語知識）	○			○	

III 国際経営学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
（ディプロマポリシー）	教養	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標(ディプロマポリシー)					
		教養	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
基礎ゼミ	導入演習（国際経営）	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○	○	○	○	○
	基礎演習（国際経営）		○			○	○
コア1 学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○		
	温泉学概論		○	○	○		○
	キャリア教育Ⅰ		○	○	○		
	キャリア教育Ⅱ		○		○	○	○
	インターンシップⅠ		○		○	○	
	インターンシップⅡ		○		○	○	
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
	NPO論		○				○
	トップマネジメント講話		○	○	○		
	手話		○			○	
	地域と世界農業遺産		○	○			
	世界農業遺産体験演習		○		○		
	世界農業遺産マネジメント演習		○	○		○	○
	九州学		○			○	
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○		
	災害支援と防災対策		○	○	○	○	
	汎領域研究1（単位互換）		○	○	○	○	○
	汎領域研究2（単位互換）		○	○	○	○	○
	汎領域研究3（単位互換）		○	○	○	○	○
	汎領域研究4（単位互換）		○	○	○	○	○
コア2 人間と文化の探求	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○		○	
	哲学		○	○			
	倫理学		○	○			
	生命倫理学		○	○			
	心理学Ⅰ		○	○	○	○	○
	心理学Ⅱ		○	○	○	○	○
	歴史学		○	○			
	日本文化史		○	○		○	○
	世界文化史		○				○
	科学史		○	○		○	
	社会思想史		○	○			
	体育実技Ⅰ		○	○	○	○	○
	体育実技Ⅱ		○	○	○	○	○
	スポーツと健康		○	○			

コア3 現代社会の多面的理解	法学（日本国憲法）	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	法律学		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	行政法		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	社会学		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	地域福祉論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	社会調査法		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	政治学		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
	マスコミ論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	国際文化論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	国際関係論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
	地域環境論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	国際理解Ⅰ		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	国際理解Ⅱ		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	社会生活概論		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
	ボランティア活動論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
人権教育論	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						
コア4 科学と情報	生物学	自然環境の理解に必要な教養を身につける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	数学基礎		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	化学基礎		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	科学技術論		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	科学と社会		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	情報リテラシー		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	数理・データサイエンス入門		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>
	論理学		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	統計学		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
コア5 国際理解のための言語	英語1	外国語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	英語2		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	英語3		<input type="radio"/>					
	英語4		<input type="radio"/>					
	英語5		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	英語6		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	英会話基礎1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
	英会話基礎2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
	TOEIC1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
	TOEIC2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
	TOEIC3		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	TOEIC4		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	TOEIC5		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	TOEIC6		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	TOEIC7		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	TOEIC8		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	英語ステップアップ演習1		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	英語ステップアップ演習2		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	ドイツ語基礎1		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	ドイツ語基礎2		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	ドイツ語コミュニケーション1		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	ドイツ語コミュニケーション2		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	フランス語基礎1		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	フランス語基礎2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	フランス語コミュニケーション1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	フランス語コミュニケーション2		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	中国語基礎1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	中国語基礎2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
	中国語コミュニケーション1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	中国語コミュニケーション2		<input type="radio"/>					
韓国語基礎1	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>				
韓国語基礎2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>				
韓国語コミュニケーション1	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>				
韓国語コミュニケーション2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>				
海外語学研修1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
海外語学研修2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
海外語学研修3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
海外語学研修4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
外書講読	外書講読1	英語の文献読解力を高める	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	外書講読2		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	外書講読3		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	外書講読4		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

授業科目の名称		学修成果の目標(ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
日本語	総合日本語 1 (読む・書く)	○	○		○	
	総合日本語 2 (読む・書く)	○	○		○	
	総合日本語 3 (聴く・話す)	○			○	
	総合日本語 4 (聴く・話す)	○			○	
	アカデミック日本語 1 (口頭発表)	○			○	○
	アカデミック日本語 2 (口頭発表)	○			○	○
	アカデミック日本語 3 (論文作成)	○			○	
	アカデミック日本語 4 (論文作成)	○			○	
	アカデミック日本語 5 (言語知識)	○			○	
	アカデミック日本語 6 (言語知識)	○			○	
			外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を身につける			

別表第1 (学則第26条第6項)

- I 文学部 卒業要件単位数124単位以上修得
1. 教養科目群から32単位以上修得
 - 基礎ゼミ : 2単位必修
 - コア1 : 2単位以上を含む。
 - コア2・3 : 各4単位以上を含む。
 - コア4・5 : 各6単位以上を含む。
 2. 専門科目群から68単位以上修得
 - 卒業論文6単位、卒業制作6単位、卒業研究4単位のいずれかを含む。
 3. 教養科目群及び専門科目群から24単位以上修得

1. 教養科目群

科目区分	授業科目の名称	単位数			備考
		必修	選択	自由	
基礎ゼミ	導入演習 (国際言語・文化)		1		1単位選択必修
	導入演習 (史学・文化財)		1		
	導入演習 (人間関係)		1		
	基礎演習 (国際言語・文化)		1		1単位選択必修
	基礎演習 (史学・文化財)		1		
	基礎演習 (人間関係)		1		
コア1 学際科目	大学史と別府大学		2		2単位以上選択必修
	温泉学概論		2		
	キャリア教育 I		2		
	キャリア教育 II		2		
	インターンシップ I		1		
	インターンシップ II		2		
	市民生活とアーカイブズ		2		
	NPO論		2		
	トップマネジメント講話		2		
	手話		2		
	地域と世界農業遺産		2		
	世界農業遺産体験演習		2		
	世界農業遺産マネジメント演習		2		
	九州学		2		
	地域社会フィールドワーク演習		2		
	災害支援と防災対策		2		
	汎領域研究1 (単位互換)		1		
	汎領域研究2 (単位互換)		1		
	汎領域研究3 (単位互換)		1		
	汎領域研究4 (単位互換)		1		
コア2 人間と文化の探求	文学		2		4単位以上選択必修
	哲学		2		
	倫理学		2		
	生命倫理学		2		
	心理学 I		2		
	心理学 II		2		
	歴史学		2		
	日本文化史		2		

コア 科目		世界文化史		2		
		科学史		2		
		社会思想史		2		
		体育実技Ⅰ		1		
		体育実技Ⅱ		1		
		スポーツと健康		2		
	コア3 現代社会の多 面的理解		法学(日本国憲法)		2	
			法律学		2	
			行政法		2	
			経済学		2	
			社会学		2	
			地域福祉論		2	
			社会調査法		2	
			政治学		2	
			マスコミ論		2	
			国際文化論		2	
			国際関係論		2	
			地域環境論		2	
			国際理解Ⅰ		2	
			国際理解Ⅱ		2	
			社会生活概論		2	
			ボランティア活動論		2	
		人権教育論		2		
	コア4 科学と情報		生物学		2	
			数学基礎		2	
			化学基礎		2	
			科学技術論		2	
			科学と社会		2	
			情報リテラシー	2		
			数理・データサイエンス入門	2		
			論理学		2	
			統計学		2	
	コア5 国際理解のた めの言語		英語1	1		
		英語2	1			
		英語3	1			
		英語4	1			
		英語5		1		
		英語6		1		
		英会話基礎1		1		
		英会話基礎2		1		
		TOEIC1		1		
		TOEIC2		1		
		TOEIC3		1		
		TOEIC4		1		
		TOEIC5		1		
		TOEIC6		1		
		TOEIC7		1		
		TOEIC8		1		
		英語ステップアップ演習1		1		
		英語ステップアップ演習2		1		

4 単位以上選択必修

6 単位以上選択必修

	ドイツ語基礎 1		1		} 6 単位以上選択必修
	ドイツ語基礎 2		1		
	ドイツ語コミュニケーション 1		1		
	ドイツ語コミュニケーション 2		1		
	フランス語基礎 1		1		
	フランス語基礎 2		1		
	フランス語コミュニケーション 1		1		
	フランス語コミュニケーション 2		1		
	中国語基礎 1		1		
	中国語基礎 2		1		
	中国語コミュニケーション 1		1		
	中国語コミュニケーション 2		1		
	韓国語基礎 1		1		
	韓国語基礎 2		1		
	韓国語コミュニケーション 1		1		
	韓国語コミュニケーション 2		1		
	海外語学研修 1		2		
	海外語学研修 2		2		
	海外語学研修 3		2		
	海外語学研修 4		2		
外書講読	外書講読 1		1		
	外書講読 2		1		
	外書講読 3		1		
	外書講読 4		1		

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本語	総合日本語 1 (読む・書く)		2	外国人・帰国子女はこのうち16単位までを教養科目群の単位に替えることができる。
	総合日本語 2 (読む・書く)		2	
	総合日本語 3 (聴く・話す)		2	
	総合日本語 4 (聴く・話す)		2	
	アカデミック日本語 1 (口頭発表)		2	} 2 単位以上選択必修
	アカデミック日本語 2 (口頭発表)		2	
	アカデミック日本語 3 (論文作成)		2	} 2 単位以上選択必修
	アカデミック日本語 4 (論文作成)		2	
	アカデミック日本語 5 (言語知識)		2	} 2 単位以上選択必修
	アカデミック日本語 6 (言語知識)		2	

II 食物栄養科学部

卒業要件単位数124単位以上修得

1. 教養科目群から24単位以上修得
 2. 専門科目群から84単位以上修得、
 3. 教養科目群及び専門科目群から16単位以上修得)
- (編入学生は必修から除く)

1. 教養科目群

1) 食物栄養学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
食物栄養科学 基盤領域	導入演習 (食物栄養)	1			6単位以上選択必修
	基礎演習 (食物栄養)	1			
	学生生活における健康管理		2		
	アカデミック・スキルズ		2		
	食とバイオ		2		
	一般化学		2		
	食環境と微生物		2		
	食生活論		2		
	食物栄養科学と統計情報処理		2		
	グローバル食文化研修Ⅰ		2		
	グローバル食文化研修Ⅱ		2		
コア1 地域社会総合領 域	大学史と別府大学		2		2単位以上選択必修
	温泉学概論		2		
	キャリア教育Ⅰ		2		
	キャリア教育Ⅱ		2		
	市民生活とアーカイブズ		2		
	NPO論		2		
	トップマネジメント講話		2		
	手話		2		
	地域と世界農業遺産		2		
	世界農業遺産体験演習		2		
	世界農業遺産マネジメント演習		2		
	九州学		2		
	地域社会フィールドワーク演習		2		
	災害支援と防災対策		2		
	汎領域研究1 (単位互換)		1		
	汎領域研究2 (単位互換)		1		
	汎領域研究3 (単位互換)		1		
汎領域研究4 (単位互換)		1			
コア2 人間と文化探求 領域	文学		2		2単位以上選択必修
	科学史		2		
	哲学における人間と世界		2		
	倫理学		2		
	生命倫理学		2		
	歴史学		2		
	日本文化史		2		
	世界文化史		2		
	体育実技Ⅰ		1		
	体育実技Ⅱ		1		
	スポーツと健康		2		
社会心理学		2			

コア3 社会科学探求領域	法学(日本国憲法)		2	
	法律学		2	
	社会生活概論		2	
	社会調査概論		2	
コア4 自然科学・情報	科学技術論		2	
	生物学		2	
	科学と社会		2	
	数学基礎		2	
	統計学		2	
	情報リテラシー	2		
	数理・データサイエンス入門	2		
コア5 国際理解のための	総合英語Ⅰ	1		
	総合英語Ⅱ	1		
	英語ステップアップ演習Ⅰ		1	
	英語ステップアップ演習Ⅱ		1	
	総合英語Ⅲ		1	
	総合英語Ⅳ		1	
	英語コミュニケーションⅠ	1		
	英語コミュニケーションⅡ	1		
	TOEICⅠ		1	
	TOEICⅡ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	韓国語Ⅰ		1	
	韓国語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	海外語学研修1		2	
	海外語学研修2		2	
海外語学研修3		2		
海外語学研修4		2		

6単位以上選択必修

6単位以上選択必修

2) 発酵食品学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
食物栄養科学 基盤領域	導入演習 (発酵食品)	1			6単位以上選択必修
	基礎演習 (発酵食品)	1			
	学生生活における健康管理		2		
	アカデミック・スキルズ		2		
	食とバイオ		2		
	一般化学		2		
	食環境と微生物		2		
	食生活論		2		
	食物栄養科学と統計情報処理		2		
	グローバル食文化研修Ⅰ		2		
	グローバル食文化研修Ⅱ		2		
コア1 地域社会総合領 域	大学史と別府大学		2		2単位以上選択必修
	温泉学概論		2		
	キャリア教育Ⅰ		2		
	キャリア教育Ⅱ		2		
	市民生活とアーカイブズ		2		
	NPO論		2		
	トップマネジメント講話		2		
	手話		2		
	地域と世界農業遺産		2		
	世界農業遺産体験演習		2		
	世界農業遺産マネジメント演習		2		
	九州学		2		
	地域社会フィールドワーク演習		2		
	災害支援と防災対策		2		
	汎領域研究1 (単位互換)		1		
	汎領域研究2 (単位互換)		1		
	汎領域研究3 (単位互換)		1		
汎領域研究4 (単位互換)		1			
コア2 人間と文化探求 領域	文学		2		2単位以上選択必修
	科学史		2		
	哲学における人間と世界		2		
	倫理学		2		
	生命倫理学		2		
	歴史学		2		
	日本文化史		2		
	世界文化史		2		
	体育実技Ⅰ		1		
	体育実技Ⅱ		1		
	スポーツと健康		2		
	社会心理学		2		
	コア3 社会科学探求領 域	法学(日本国憲法)		2	
法律学			2		
社会生活概論			2		
社会調査概論			2		
コア4 自然科学・情報 基盤領域	科学技術論		2		6単位以上選択必修
	生物学		2		
	科学と社会		2		
	数学基礎		2		
	統計学		2		
	情報リテラシー	2			
	数理・データサイエンス入門	2			

コア5 国際理解のための 言語領域	総合英語Ⅰ	1		
	総合英語Ⅱ	1		
	英語ステップアップ演習Ⅰ		1	
	英語ステップアップ演習Ⅱ		1	
	総合英語Ⅲ		1	
	総合英語Ⅳ		1	
	英語コミュニケーションⅠ	1		
	英語コミュニケーションⅡ	1		
	TOEICⅠ		1	
	TOEICⅡ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	韓国語Ⅰ		1	
	韓国語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	海外語学研修1		2	
海外語学研修2		2		
海外語学研修3		2		
海外語学研修4		2		

6単位以上選択必修

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
日本語	総合日本語1（読む・書く）		2		外国人・帰国子女はこのうち 12単位までを教養科目群の単 位に替えることができる。
	総合日本語2（読む・書く）		2		
	総合日本語3（聴く・話す）		2		
	総合日本語4（聴く・話す）		2		
	アカデミック日本語1（口頭発表）		2		} 2単位以上選択必修
	アカデミック日本語2（口頭発表）		2		
	アカデミック日本語3（論文作成）		2		} 2単位以上選択必修
	アカデミック日本語4（論文作成）		2		
	アカデミック日本語5（言語知識）		2		} 2単位以上選択必修
	アカデミック日本語6（言語知識）		2		

Ⅲ 国際経営学部

卒業要件単位数124単位以上修得

1. 教養科目群から32単位以上修得
 - 基礎ゼミ：2単位必修
 - コア1：2単位以上を含む。
 - コア2・3：各4単位以上を含む。
 - コア4・5：各6単位以上を含む。
2. 専門科目群から68単位以上修得
 - 卒業論文6単位又は卒業研究4単位を含む。
3. 教養科目群及び専門科目群から24単位以上修得

1. 教養科目群

科目区分	授業科目の名称	単位数			備考
		必修	選択	自由	
基礎ゼミ	導入演習（国際経営）	1			
	基礎演習（国際経営）	1			
コア1 学際科目	大学史と別府大学		2		} 2単位以上選択必修
	温泉学概論		2		
	キャリア教育Ⅰ		2		
	キャリア教育Ⅱ		2		
	インターンシップⅠ		1		
	インターンシップⅡ		2		
	市民生活とアーカイブズ		2		
	NPO論		2		
	トップマネジメント講話		2		
	手話		2		
	地域と世界農業遺産		2		
	世界農業遺産体験演習		2		
	世界農業遺産マネジメント演習		2		
	九州学		2		
	地域社会フィールドワーク演習		2		
	災害支援と防災対策		2		
	汎領域研究1（単位互換）		1		
	汎領域研究2（単位互換）		1		
汎領域研究3（単位互換）		1			
汎領域研究4（単位互換）		1			
コア2 人間と文化の 探求	文学		2		} 4単位以上選択必修
	哲学		2		
	倫理学		2		
	生命倫理学		2		
	心理学Ⅰ		2		
	心理学Ⅱ		2		
	歴史学		2		
	日本文化史		2		
	世界文化史		2		
	科学史		2		
	社会思想史		2		
	体育実技Ⅰ		1		
	体育実技Ⅱ		1		
	スポーツと健康		2		
コア3 現代社会の多 面的理解	法学(日本国憲法)		2		} 4単位以上選択必修
	法律学		2		
	行政法		2		
	社会学		2		

コア科目目

地域福祉論		2	
社会調査法		2	
政治学		2	
マスコミ論		2	
国際文化論		2	
国際関係論		2	
地域環境論		2	
国際理解 I		2	
国際理解 II		2	
社会生活概論		2	
ボランティア活動論		2	
人権教育論		2	
コア4 科学と情報	生物学		2
	数学基礎		2
	化学基礎		2
	科学技術論		2
	科学と社会		2
	情報リテラシー	2	
	数理・データサイエンス入門	2	
	論理学		2
	統計学		2
コア5 国際理解のための言語	英語 1	1	
	英語 2	1	
	英語 3	1	
	英語 4	1	
	英語 5		1
	英語 6		1
	英会話基礎 1		1
	英会話基礎 2		1
	TOE I C 1		1
	TOE I C 2		1
	TOE I C 3		1
	TOE I C 4		1
	TOE I C 5		1
	TOE I C 6		1
	TOE I C 7		1
	TOE I C 8		1
	英語ステップアップ演習 1		1
	英語ステップアップ演習 2		1
	ドイツ語基礎 1		1
	ドイツ語基礎 2		1
	ドイツ語コミュニケーション 1		1
	ドイツ語コミュニケーション 2		1
	フランス語基礎 1		1
	フランス語基礎 2		1
	フランス語コミュニケーション 1		1
	フランス語コミュニケーション 2		1
	中国語基礎 1		1
	中国語基礎 2		1
	中国語コミュニケーション 1		1
	中国語コミュニケーション 2		1
	韓国語基礎 1		1

4 単位以上選択必修

6 単位以上選択必修

6 単位以上選択必修

	韓国語基礎 2		1	
	韓国語コミュニケーション 1		1	
	韓国語コミュニケーション 2		1	
	海外語学研修 1		2	
	海外語学研修 2		2	
	海外語学研修 3		2	
	海外語学研修 4		2	
外書講読	外書講読 1		1	
	外書講読 2		1	
	外書講読 3		1	
	外書講読 4		1	

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本語 総合日本語 1 (読む・書く)		2		外国人・帰国子女はこのうち16単位までを教養科目群の単位に替えることができる。
総合日本語 2 (読む・書く)		2		
総合日本語 3 (聴く・話す)		2		
総合日本語 4 (聴く・話す)		2		
アカデミック日本語 1 (口頭発表)		2		} 2単位以上選択必修
アカデミック日本語 2 (口頭発表)		2		
アカデミック日本語 3 (論文作成)		2		} 2単位以上選択必修
アカデミック日本語 4 (論文作成)		2		
アカデミック日本語 5 (言語知識)		2		} 2単位以上選択必修
アカデミック日本語 6 (言語知識)		2		

別府大学・別府大学短期大学部数理・データサイエンス教育推進委員会規則

令和3年5月12日制定

(設置)

第1条 別府大学及び別府大学短期大学部（以下「本学」という。）に、数理・データサイエンス・AI教育の推進を図るため、別府大学・別府大学短期大学部数理・データサイエンス教育推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、前条の設置目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- 一 データを活用し社会の課題を発見・解決できる人材を育成するための数理・データサイエンス・AI教育のプログラムの構成・内容・サポート体制に関すること
- 二 数理・データサイエンス・AI教育に関するプログラムの推進に関すること
- 三 数理・データサイエンス・AI教育に関するプログラムの点検・評価に関すること
- 四 数理・データサイエンス・AI教育に関するプログラムの改善・進化に関すること
- 五 その他数理・データサイエンス・AI教育に関すること

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 関係学部長（短期大学部は関係学科長）
- (2) 学長補佐 若干名
- (3) 教務事務部長
- (4) 委員長が指名する者

2 前項第4号の者については、必要に応じて、その都度選任する。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が指名する委員をもって充てる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務事務部教務課において処理する。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し、必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、令和3年5月12日から施行する。

別府大学・別府大学短期大学部数理・データサイエンス教育推進委員会規則

令和3年5月12日制定

(設置)

第1条 別府大学及び別府大学短期大学部（以下「本学」という。）に、数理・データサイエンス・AI教育の推進を図るため、別府大学・別府大学短期大学部数理・データサイエンス教育推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、前条の設置目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- 一 データを活用し社会の課題を発見・解決できる人材を育成するための数理・データサイエンス・AI教育のプログラムの構成・内容・サポート体制に関すること
- 二 数理・データサイエンス・AI教育に関するプログラムの推進に関すること
- 三 数理・データサイエンス・AI教育に関するプログラムの点検・評価に関すること
- 四 数理・データサイエンス・AI教育に関するプログラムの改善・進化に関すること
- 五 その他数理・データサイエンス・AI教育に関すること

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 関係学部長（短期大学部は関係学科長）
- (2) 学長補佐 若干名
- (3) 教務事務部長
- (4) 委員長が指名する者

2 前項第4号の者については、必要に応じて、その都度選任する。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が指名する委員をもって充てる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務事務部教務課において処理する。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し、必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、令和3年5月12日から施行する。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム概要



修得するスキル

- DSと現代社会の関わり
- DSの分析手法
- 可視化や分析の技術

プログラム修了

〈今後の課題〉

- 応用プログラムの開発
- 専門教育との連携・接続
- 関連科目の拡大

全学生プログラム修了

情報基礎教育の内容の修得を前提とした、プログラミングやデータ操作体験を重視した、「わかりやすい」「実感できる」教育

全学必修
1年後期

「数理・データサイエンス入門」

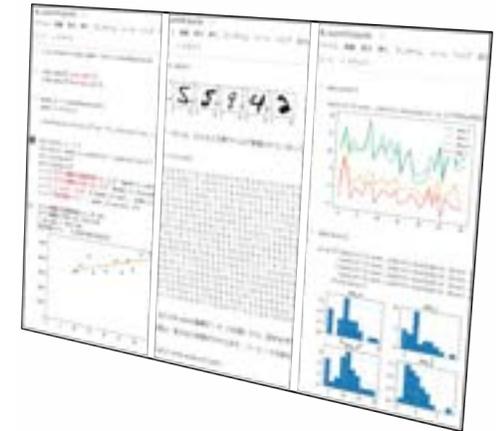
- 現代社会とDSの関わり
- Pythonプログラミング
- データの可視化・分析
- データ活用実践

本教育プログラム（2科目）

全学必修
1年前期
BYOD

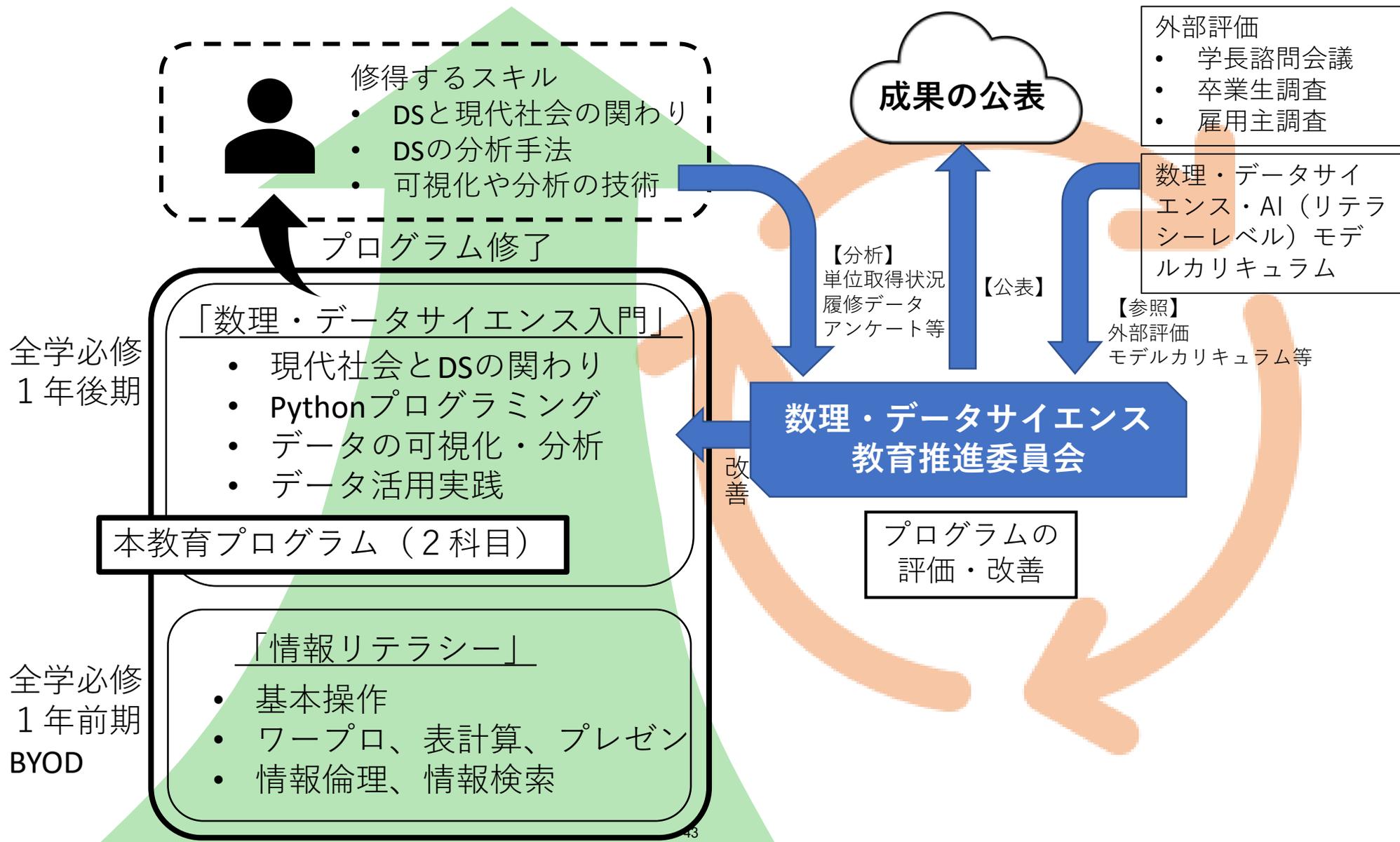
「情報リテラシー」

- 基本操作
- ワープロ、表計算、プレゼン
- 情報倫理、情報検索



全学必修・全学BYODによる
情報基礎教育の徹底

別府大学・別府大学短期大学部
数理・データサイエンス・AI教育プログラム 補足説明資料 ①



数理・データサイエンス・AI教育の推進改善システム

別府大学・別府大学短期大学部
企画運営会議・教授会
企画の確認、決定、周知

教員から学生へ
数理・データサイエンス教育

Do : 教育の実施、授業アンケートの実施



別府大学・別府大学短期大学部
数理・データサイエンス教育推進委員会

Plan : 教育の推進の企画、提案
Action : Check後の新プランの企画、提案



別府大学・別府大学短期大学部
学長諮問会議・就職先アンケート調査等

Check : 教育の実施状況の報告と意見聴取

